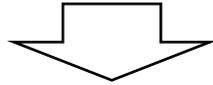


八街市DX推進計画（案） 概要版

○計画策定の背景

【本市の課題】

1. 社会構造の変化と財政的制約
少子高齢化、生産年齢人口の減少、社会保障費やインフラ維持費の増大
2. 行政運営の改善と人材の確保・育成
市民ニーズの多様化・業務の複雑化、限られた職員数、デジタル人材の不足
3. 市民生活と技術環境の変化
デジタル技術の急速な進展と、それに対応できていない状況、デジタル格差



【DX推進による課題解決】

デジタル技術・AI・データを活用して業務の効率化と最適化を進め、職員がより価値の高い業務に取り組める環境を整えると同時に、行政サービスの質を高め、市民の利便性向上につなげる。

○計画の位置づけ

1. 本計画は、「総合計画2025前期基本計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「行財政改革プラン2025」などの既存計画をDXの観点から補完し、本市のまちづくりを推進するために策定したデジタル分野の個別計画として策定する。
2. 官民データ活用推進基本法第9条 第3項に規定する、市町村官民データ活用推進計画として位置づける。

○計画期間等

令和8年度（2026年）から令和12年度（2030年）までの5年間

○基本方針

基本方針1 市民の利便性

【推進する取組】

- (1) 行政手続のオンライン化
- (2) キャッシュレス決済の拡充
- (3) マイナンバーカードの取得支援・利用の推進

基本方針2 行政事務の効率化

【推進する取組】

- (1) 国・地方デジタル共通基盤の共通化等の推進
- (2) ペーパーレス化の促進
- (3) AI・RPAの利用推進
- (4) セキュリティ対策の徹底
- (5) DX人材の確保・育成
- (6) アナログ規制の見直し

基本方針3 地域社会の活性化

【推進する取組】

- (1) 地域社会のデジタル化
- (2) デジタルバйд対策
- (3) オープンデータの推進・官民データ活用の推進